

親子クイズ 387

			D		B
	A	F			
	E				
			C		

締め切り / 平成16年 8月16日 必着
 あて先 / 783-8501 南国市大桶甲2301
 南国市企画課親子クイズ係
 賞品 / 正解者の中から抽選で、5人に
 図書券を贈呈

第386回親子クイズの答えは、
 「ヤナセライオン」でした。
 応募総数 / 28通 正解率 / 96%

- 386回解答 【第386回当選者】
- | | |
|-------|---------------|
| セト | 安岡 敦子さん (大桶甲) |
| タムラ | 浜田 定枝さん (大桶甲) |
| オオミナト | 宮田 照子さん (岡豊町) |
| ナロ | 井上 秀一さん (領石) |
| イナブ | 松田 信子さん (立田) |
| ヤキョウ | |
| ゴメン | |

Q 南国市の夏の風物詩
 「ABCDEAF」

ヨコ ソースと青のりが食欲をそそります。
 丸木船の形をしたボート。
 サーフィン、ダイビングは一つの代表。
 宿題は早めに済ませたい。
 日曜 は、高知の観光名物。
 の切れ目が縁の切れ目。
 奈路の球技大会といえばこれ。
 遠き島より流れ来る の実。
 近藤真彦。
 騎士。
 フランス語で休暇。
 洗車・水まきにはこれが必要。
 車が無かった時代に農作業によく使ったカー。
 ビタミンCたっぷり。夏でもハウスものがあります。
 熱いものが苦手。 舌。

タテ

みんなの
 広場

スポ

市民からのお便り

「親子クイズ」孫と考えが一致したときに応募してます。今度こそ当選だ。

高知県地域づくり支援課 ～地域の元気を応援に～

県では、今年の4月から、地域に駐在して住民の皆さんや民間団体などが行うさまざまな地域づくりのお手伝いや行政との橋渡しをする職員を県下に50人配置しています。

南国市には、2名の職員が配置され、南国市、土佐山田町、香北町、物部村が活動エリアになっています。

地域づくりに取り組まれている方、NPOなど地域で活動されている方、ぜひ気軽に声をおかけください。

皆さんとともに考え行動し、さまざまな課題の解決や活動を応援していきます。

お問い合わせは、県地域づくり支援課南国駐在
 (864-6320、 864-6321)まで



南国駐在地域支援企画員の
 水田素史さん(右)と井西保範さん



監督の北村滋朗さん(後列右端)と選手のみなさん

十市少年サッカークラブ
 県予選優勝&全国大会出場

第28回全日本少年サッカー大会(日本サッカー協会など主催)県予選の決勝戦が6月6日に行われ、十市少年サッカークラブが初優勝を果たしました。同クラブは、8月に東京の読売ランドなどで開かれる本大会に出場します。
 6月28日に市役所を訪れた監督と選手らは、浜田純市長に県予選優勝を報告し、本大会に向けての豊富を語っていました。



10mのオナガドリを!



としお
池本 俊夫 さん(篠原)

会社勤めをやめてから25年、オナガドリを飼育しています。父の代から飼育していますが、10m以上の立派なオナガドリを育ててみたいのです。朝晩の世話が欠かせず、なかなか家をあけることができませんが、息子が跡を継いでくれて時間ができたらゆっくり旅行に行きたいと思っています。
趣味は釣り。船で沖に出てカツオなどを釣ったりします。大漁だと嬉しいけど、体がこたえますねえ(笑)。
南国市は住むにはえいとこ。偉人も多く訪れた南国の良さを残しつつ発展してほしいと思います。

「トリも人を見ています」と池本さん。騒いでいても池本さんの一声で落ち着きます。さすがですね。

市民からのお便り

やなせライオンとアンパンマンのベンチを見たことのない方、是非後免野田小学校に見に来てください。

休みはのんびりと



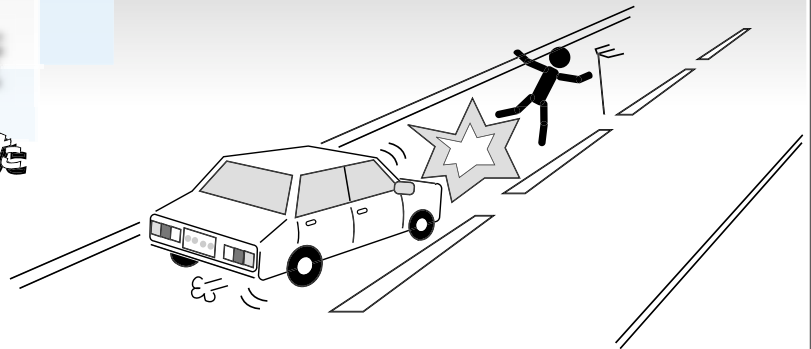
るみ
岡林 瑠美 さん(下末松)

主人と息子の3人暮らしです。病院で介護の仕事に携わっていますが、泊まりの勤務もあって大変ですが、お世話をして喜ばれるのが嬉しいのです。自分自身考えさせられることも多くてやりがいのある仕事だと思っています。
以前はバレーボールなどのスポーツをしていました。最近は体力的につらくて遠のいています。最近仲間が集まり何かをすることが好きです。
仕事忙しいので、休みは旅行など出かけるよりも家でいる方が落ち着きます。のんびり過ごせるところが南国市のいいところですね。

「こだわりがなくなりおあらかになつた」と話す岡林さん。取材にもゆつたりと穏やかに応じてくれました。

交通安全対策

こうして事故は起こった



検証④ 夕暮時の高齢者歩行者の事故

事故の概要

日暮れの早くなる初秋の午後4時、Aさん(78歳)は、畑仕事からの帰り道、いつもどおり片側1車線のほぼ直線の国道を横切るため、道端に立っていました。左右を見て、車が来ていないと思い、南から北へ渡りはじめましたが、中央付近で東側から来たBさんの運転する車に衝突され重傷を負いました。

事故の原因

Bさんの前方不注意が原因です。Aさんは左右を見たのですが、十分に確認できていませんでした。

この事故から学ぶこと

高齢者は加齢とともに、目の調節機能が衰え、暗くなりはじめの夕方は見えにくくなり、時には車を見落とすこともあります。この場合、日暮れ前であっても、BさんがライトをつけていたらAさんは車に気づいていたと思われます。

ライトの早めの点灯は、ドライバーのためだけでなく、歩行者への思いやりでもあります。また、高齢者や子どもを見かけたらその動きに十分注意する必要があります。

資料提供：高知県県民生活課交通安全対策班 823 9319